７／３（木）の発表

【道庁プレスリリース】

報道発表資料の配付日時　　７月３日（木）　10時00分

発表項目 （行事名）	マダニが媒介する感染症の注意喚起について		
記者レクチャーのお知らせ	（実施日時）	発表者	
		発表場所	
概要	○　道内でダニ媒介脳炎患者の発生が確認されたことから、マダニが媒介する感染症について改めて道民の皆様に注意喚起を図ることとしましたので、お知らせします。 ○　詳細は、別紙のとおりです。		
参考	○　注意喚起の内容について、道の感染症対策課のホームページにおいてもご覧になれます。 （https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kst/20210922dani.html）		
報道（取材）に当たってのお願い			
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	（場所）	
担当 （連絡先）	保健福祉部感染症対策局感染症対策課（担当者：長野） ＴＥＬ　ダイヤルイン　０１１－２０４－５２５３ 内線　３８－９５２		

マダニが媒介する感染症の注意喚起について

令和７年７月３日（木）１０時００分

北海道保健福祉部感染症対策局感染症対策課
電話：０１１－２０４－５２５３

道内９例目となるダニ媒介脳炎患者の発生が確認されたことから、マダニが媒介する感染症について改めて道民の皆様に注意喚起を図ることとしましたのでお知らせします。

マダニは、森林や草地など屋外に生息するダニで、ダニ媒介感染症（ライム病・回帰熱・日本紅斑熱・ダニ媒介脳炎・重症熱性血小板減少症候群（SFTS）など）の原因となる病原体を保有していることがあり、ヒトはマダニに刺されることでこれらの病気に感染することがあります。

今の時季、山菜採りや登山・キャンプなどで自然とふれあう機会が増えることから、十分な予防対策に努めてください。

１　道内のダニ媒介感染症

北海道内で過去に患者が確認されている主なダニ媒介感染症は下表のとおりです。

病名	潜伏期間	主な症状
ダニ媒介脳炎	７～14 日程度	発熱、筋肉痛、麻痺、意識障害、痙攣、髄膜炎、脳炎等
ライム病	12～15 日程度	発熱、倦怠感、慢性遊走性紅斑、希に心筋炎・髄膜炎等
新興回帰熱	７～10 日程度	発熱、筋肉痛、関節痛、倦怠感等
エゾウイルス感染症	４～９日程度	発熱、頭痛、筋肉痛、関節痛、倦怠感、消化器症状等

２　予防方法

マダニに刺されないようにすることが重要です。マダニの活動が盛んな春から秋にかけては、マダニに咬まれる危険性が高まります。

野外活動の際には、長袖・長ズボン、足を完全に覆う靴（サンダル等は避ける）、帽子、手袋、首にタオルを巻くなど、肌の露出を少なくすることを心がけるとともに、虫除け（忌避剤）の使用が効果的です。

３　マダニに刺されたら

野外活動後は入浴し、マダニに刺されていないか確認してください。

マダニの咬着が認められた場合は、無理に自分で引っ張らずに、ただちに皮膚科などでマダニの頭部が残らないように除去してもらうことが重要です。

マダニに刺された後、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は内科などで診察を受けてください。

４　北海道における主なダニ媒介感染症の発生状況

（１）ダニ媒介脳炎※

区分	①H５．５	②H28	③H29．７	④H29．８	⑤H30．５	⑥R6．６	⑦R6．７	⑧R7．６	**⑨今般事例**
発生届受理保健所	渡島保健所	札幌市保健所	市立函館保健所	札幌市保健所	旭川市保健所	札幌市保健所	市立函館保健所	千歳保健所	**室蘭保健所**
性別 年齢	女性 30 代	男性 40 代	男性 70 代	男性 70 代	女性 40 代	男性 50 代	男性 70 代	男性 20 代	**女性・70 代**
推定感染地域	道南圏域	不明	道南圏域	道央圏域	道北圏域	道央圏域	道南圏域	道央圏域	**道央圏域**
その他	－	死亡	死亡	－	－	－	－	－	－

※ダニ媒介脳炎は、今般事例を含めて全国で９例報告されており、全て北海道から報告されています。

（２）ライム病　（単位：人）

	H30	R1	R２	R３	R４	R５	R６	R７※
北海道	５	１３	２４	２０	９	１７	１８	３
全　国	１３	１７	２７	２３	１４	２８	２５	３

（３）回帰熱

	H30	R1	R２	R３	R４	R５	R６	R７※
北海道	６	７	１５	１０	２５	２３	１１	２
全　国	６	７	１５	１０	２５	２３	１１	４

※R７は、第 25 週（６月１６日～６月２２日）までの状況

ダニ媒介感染症については、北海道保健福祉部感染症対策局感染症対策課ホームページ（https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kst/20210922dani.html）においても注意喚起を行っています。

北海道及び全国の感染症発生状況については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センターホームページ（http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html）にて公開しています。